
開講科目名：財務諸表論特殊研究 (B) (2単位)

開設年次：1年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：友杉 芳正

《授業の概要》

(授業の目標)

取得原価主義会計から公正価値会計へ進展している財務諸表論の諸問題を中心に研究するものである。投資者の投資意思決定に有用な会計情報を提供する金融商品取引法会計が中心となるが、関連箇所では会社法会計としての計算書類なども取り上げる。制度上は、連結会計が中心であるが、講義では逆に個別会計から説明する。公正価値会計を前提に、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書、株主資本等変動計算書、四半期報告書を経て連結財務諸表へと展開し、財務諸表論の本質を理解する。主に講義形式で行うが、必要に応じて各自からの報告や確認テストなどを行う予定である。

(授業の内容)

- 1財務諸表論の体系
- 2概念フレームワーク
- 3投資意思決定有用性
- 4リスクからの解放
- 5公正価値会計
- 6売買目的有価証券
- 7償却原価法
- 8のれんの評価
- 9税効果会計
- 10研究開発費会計
- 11ヘッジ会計
- 12企業結合会計
- 13外貨換算会計
- 14四半期報告書
- 15連結財務諸表

(評価方法)

試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価を行う。

《テキスト》

進度に応じて、適宜指示する。

《参考書》

進度に応じて、適宜指示する。